



業界レポート

パン・菓子製造業

株式会社CCイノベーション

令和4年12月

目次 -CONTENTS-

01. レポートサマリー
02. パン製造業の基礎知識
03. パン製造業の動向
04. 菓子製造業の基礎知識
05. 菓子製造業の動向
06. 今後の焦点
07. CCIのソリューション

基礎知識

- パン・菓子製造業界は大手メーカーの食品スーパー、コンビニ向け市販品が市場の大半を占めるものの、参入障壁の低さから中小事業者も多数存在する。
- 金沢市はパン・菓子消費が多い都市である。

業界の動向

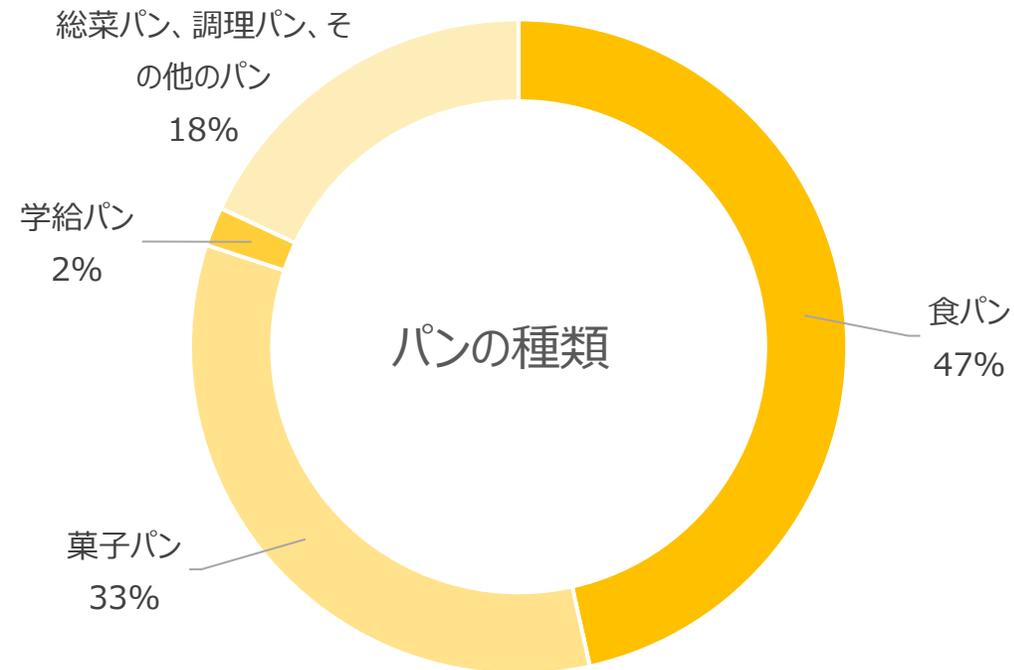
- 市場規模は従来より増加基調にあり、近年ではコロナ禍からの回復の兆候も見られる。
- 全般的に商品ライフサイクルが短く、継続的な新商品開発が求められる。

今後の焦点

- 原料価格高騰、競争激化によりパン・菓子製造業界の経営環境は一層厳しくなることが予想され、生き残りにむけた経営力強化への取り組みが求められる。
- 特に、ICT分野、人事分野は未着手の領域であり、高い経営改善効果が期待できる。

主なパンの種類

割合は製穀粉・同加工品生産量より算出
(参考：農林水産省2021年度食品産業動態調査)



- 「食パン」「菓子パン」が全体の80%を占めている。
- 食パンはロングセラー商品が多く、菓子パンは比較的短期間に新商品が導入される。

製パン業界のバリューチェーン

企画・開発

原材料調
達

生産加工

物流

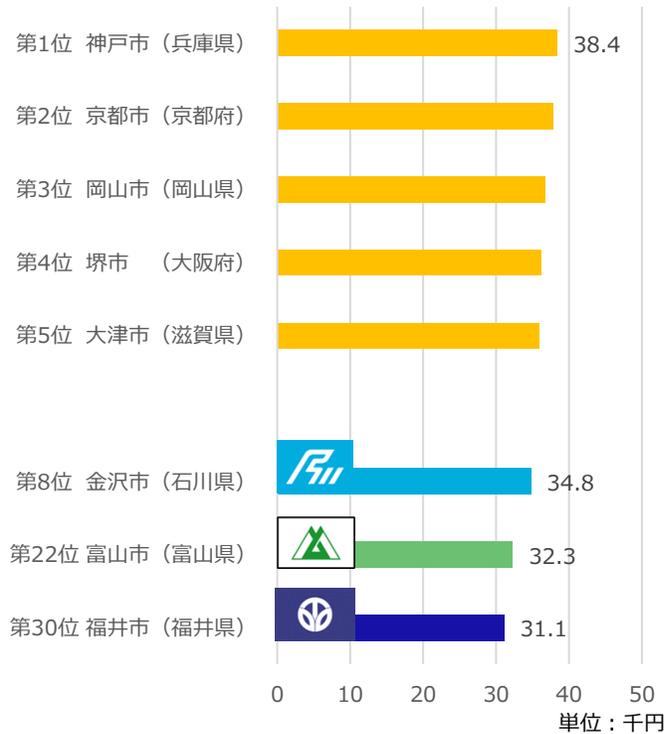
販売



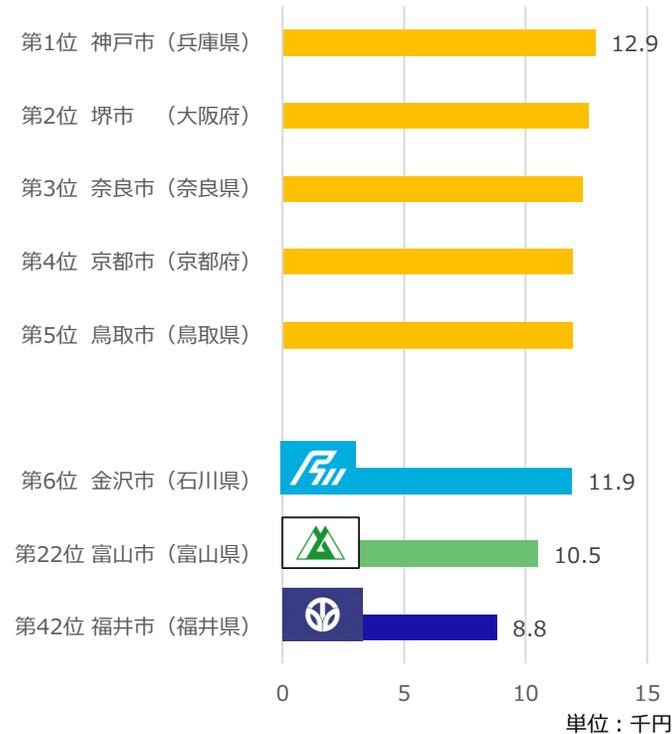
- 本業界のプレイヤーは大規模な製造工場を持つ市販品中心のプレイヤーと、店舗内にキッチンを持つベーカリー業態のプレイヤーに大きく分かれる。
- 販売チャネルは食品スーパー、コンビニエンスストアが大半を占めている。

パンに関する都道府県別ランキング

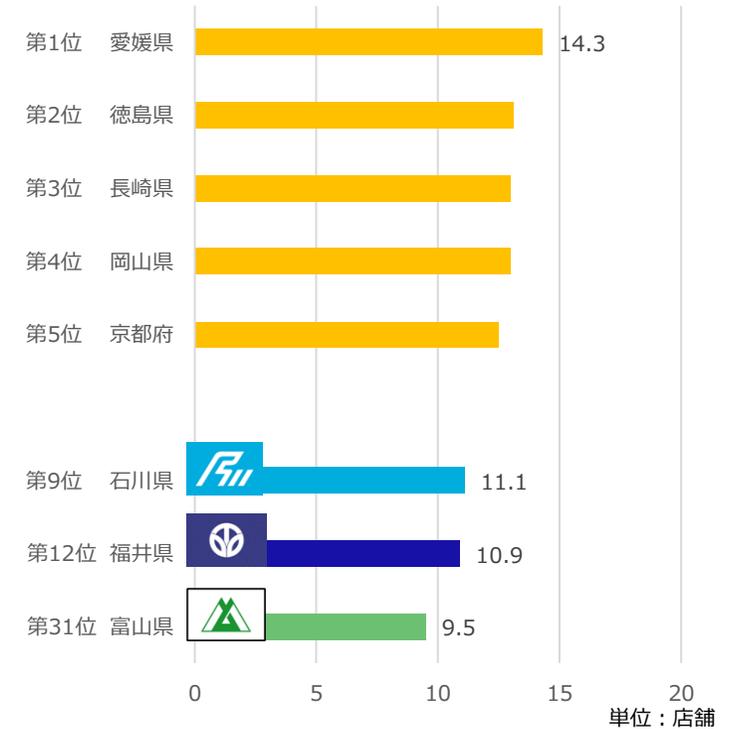
二人以上世帯年間支出額TOP5(パン全体)



二人以上世帯年間支出額TOP5(食パン)



人口10万人あたりパン小売事業者数TOP5



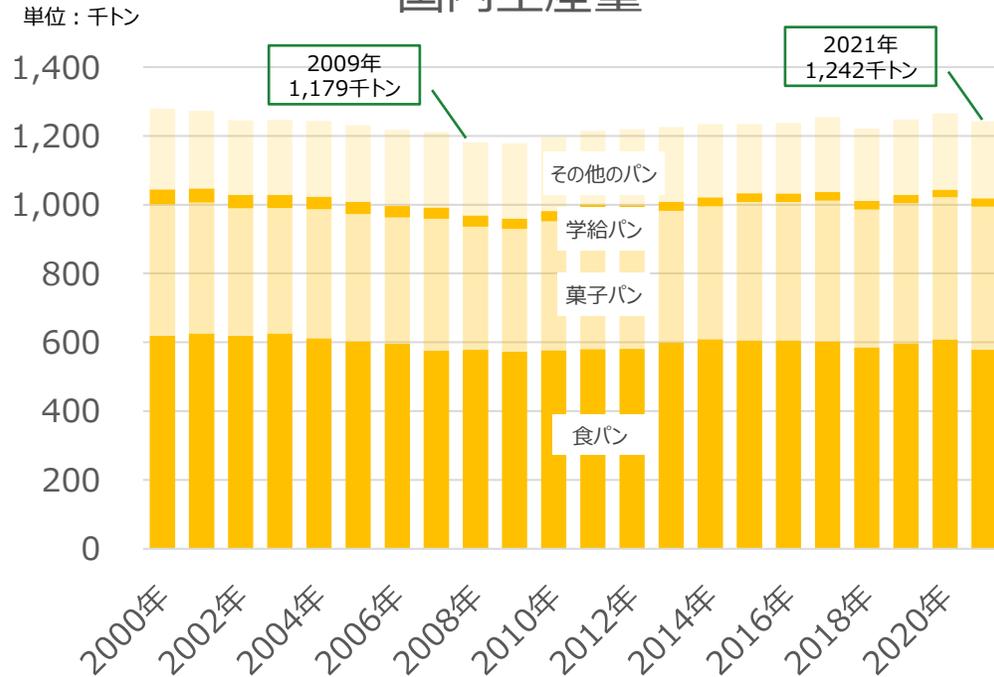
(統計局経済センサス、家計調査より当社作成)

- パン年間支出額は神戸市がトップであり、西日本の都市が上位を占めている。
- 金沢市はパン年間支出額が全国でも上位であり、パン小売事業者も多数存在する。
- 福井市はパン支出と比較し、小売業者が多い傾向にある。

03. パン製造業の動向

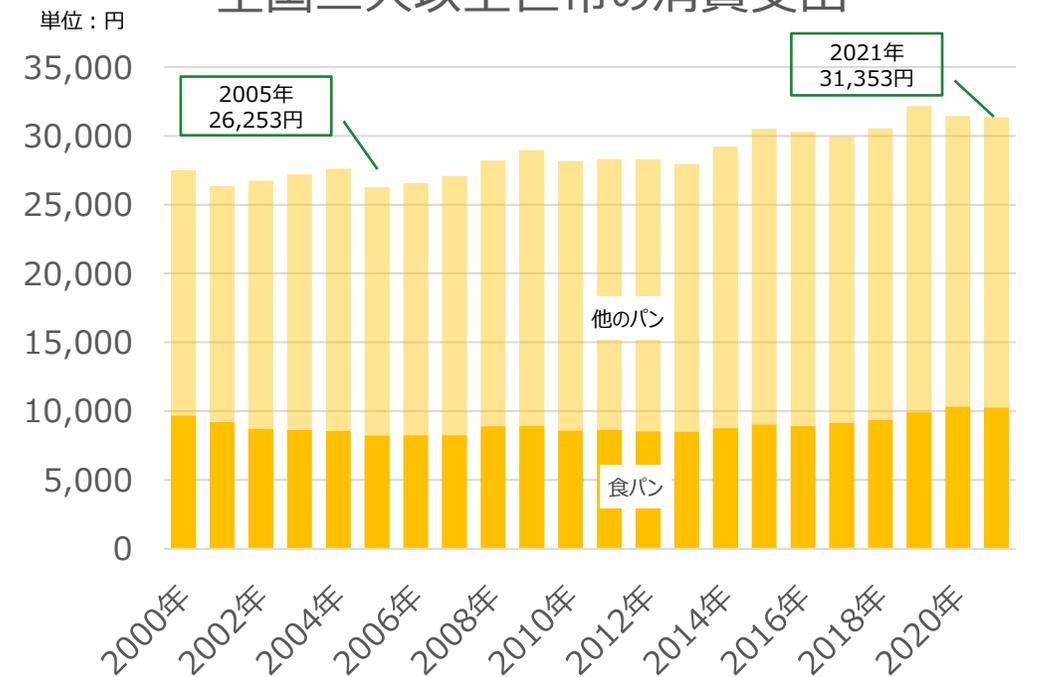
製パン業界の生産動向

国内生産量



(農林水産省2021年度食品産業動態調査をもとに当社作成)

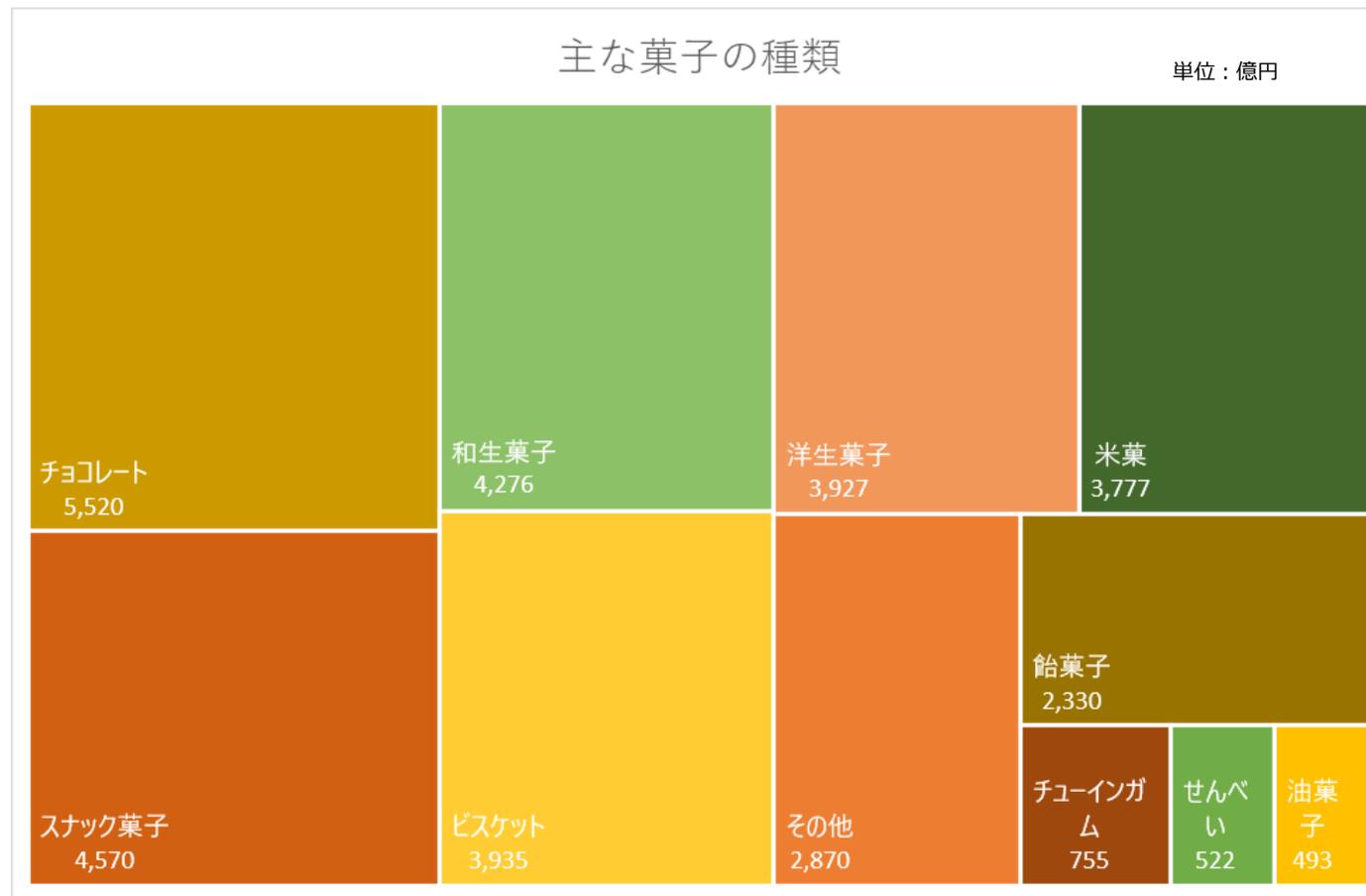
全国二人以上世帯の消費支出



(統計局家計調査をもとに当社作成)

- 国内生産量は2009年をボトムとして微増傾向、菓子パン、調理パン・サンドイッチなどのその他のパンが市場をけん引している。
- 国内生産量に対し、消費支出は増加傾向が強く、小麦など原料価格の高騰が影響している。

主な菓子の種類



数字は2021年小売金額（参考：全日本菓子協会菓子データ）

- 菓子の種類により、購入層や購入チャネルは異なり、商品ライフサイクルは早い傾向にある。
- チョコレート、洋生菓子などは季節要因や時節イベントの影響を強く受ける。

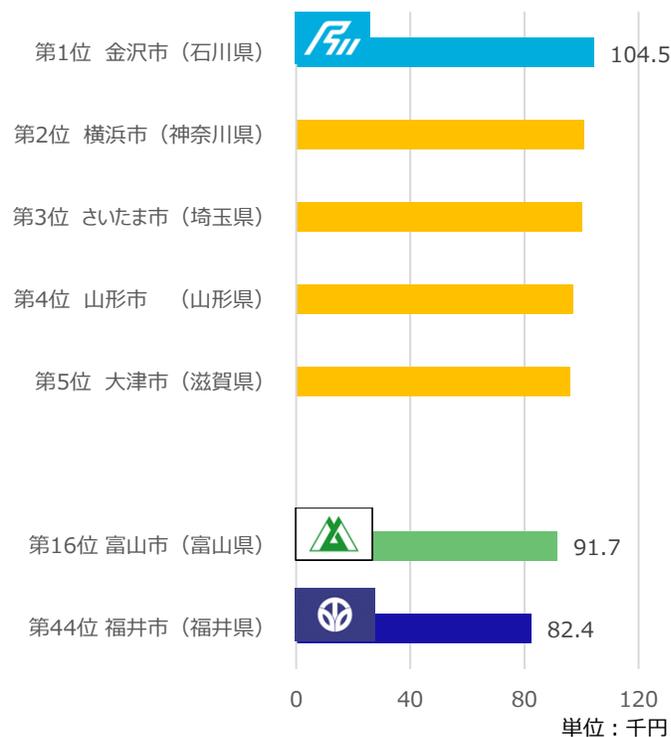
菓子製造業界のバリューチェーン



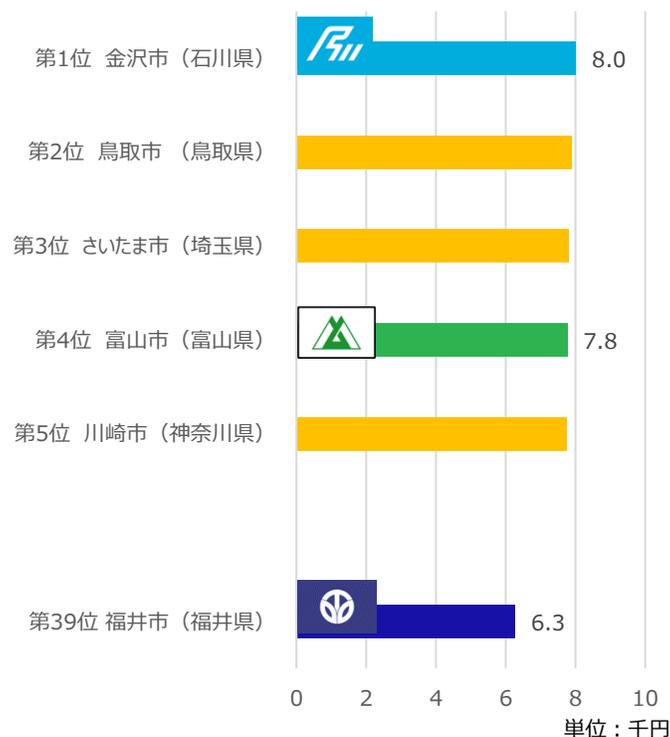
- 菓子市場は大手メーカーが大半を占めるが、中小企業、零細事業者も多い。

菓子に関する都道府県別ランキング

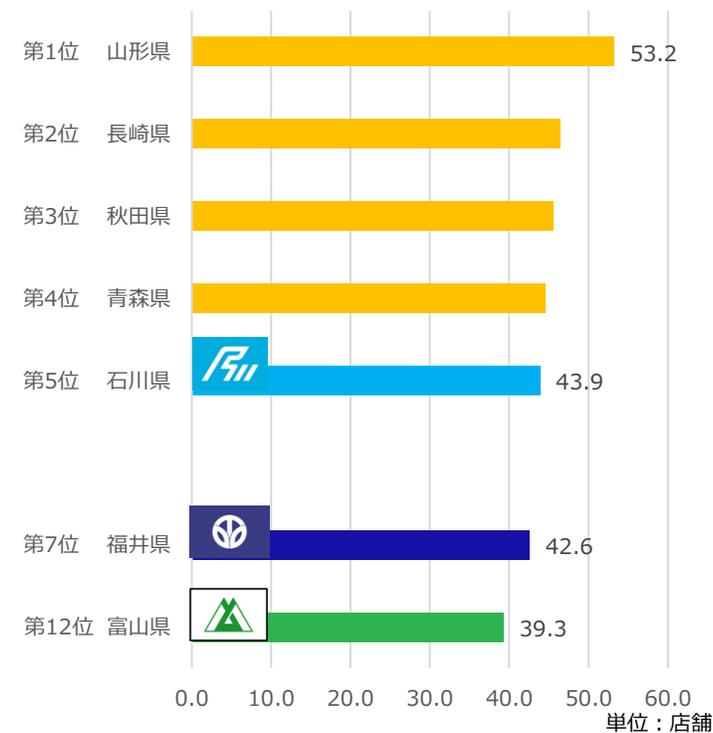
二人以上世帯年間支出額TOP5(菓子全体)



二人以上世帯年間支出額TOP5(チョコレート)



人口10万人あたり菓子小売事業者数TOP5

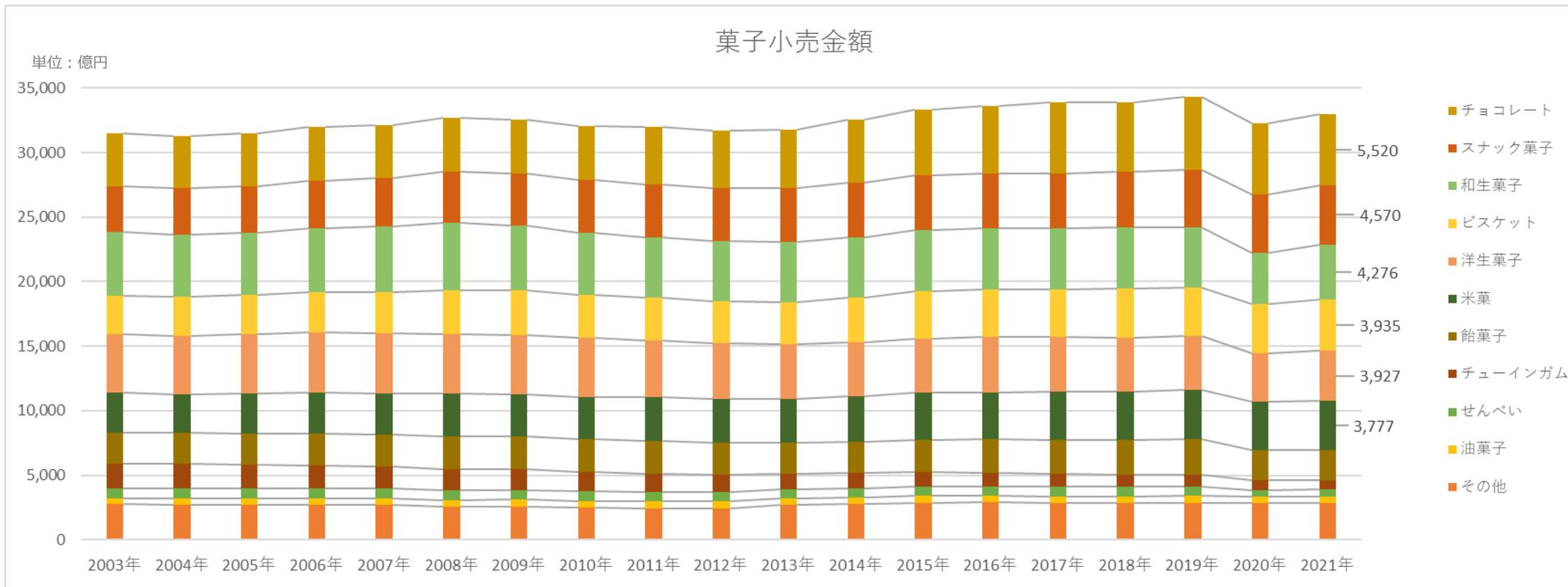


(統計局経済センサス、家計調査より当社作成)

- 金沢市の年間支出額は全国トップであり、小売事業者も多い。
- 北陸三県は菓子小売事業者が比較的多い地域である。

05. 菓子製造業の動向

菓子業界の生産動向

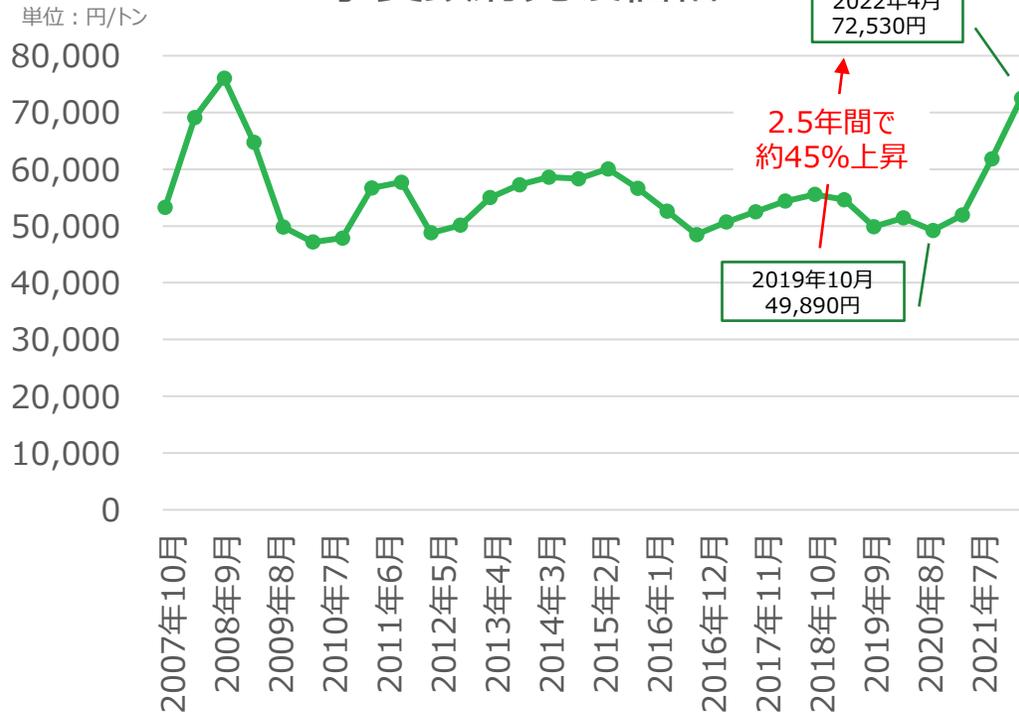


(全日本菓子協会菓子データより当社作成)

- 菓子市場はチョコレート、スナック菓子がけん引役となり増加基調で推移したが、コロナ禍による社会活動停滞に水を差された。
- 2021年は土産用、進物用やオフィス需要の回復、新たな需要創出にむけた新商品開発により増加に転じた。

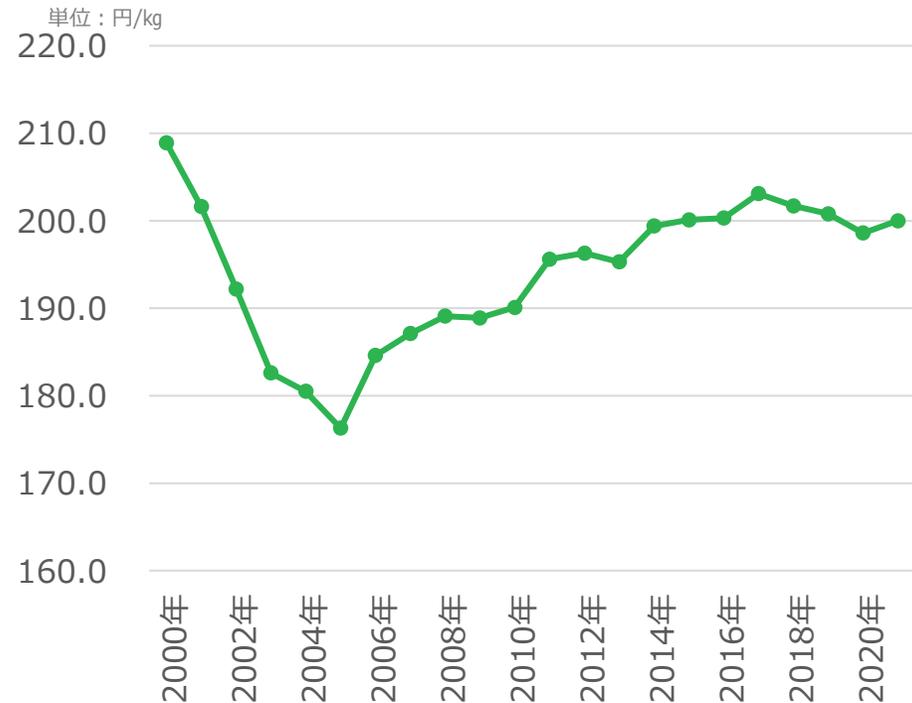
原材料価格の推移

小麦政府売渡価格



(農林水産省輸入小麦政府売渡価格公表添付資料より当社作成)

砂糖小売価格

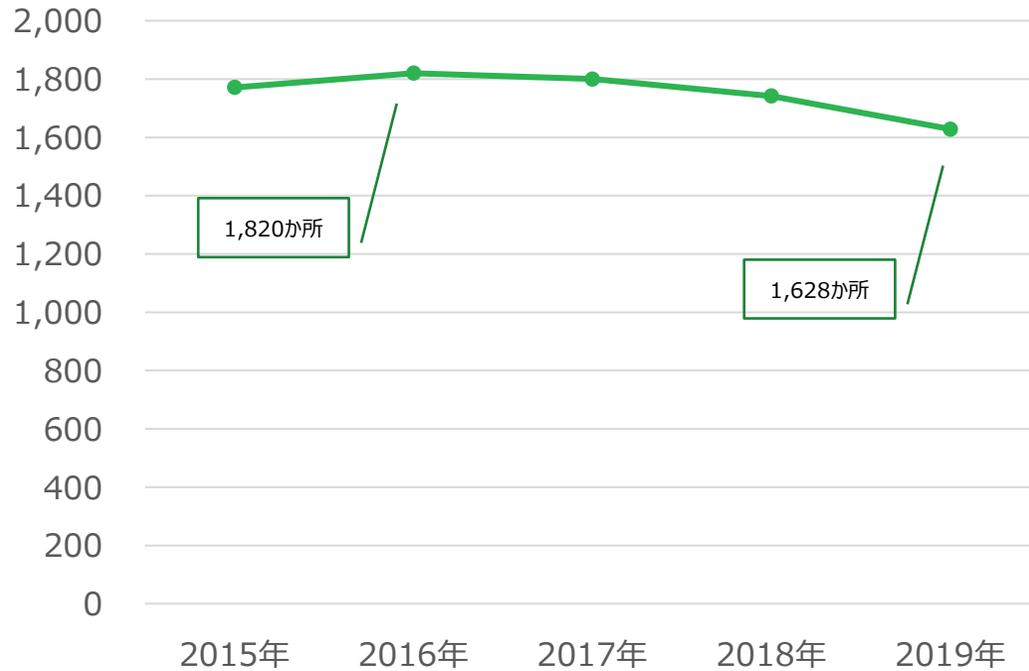


(統計局小売物価統計調査より当社作成)

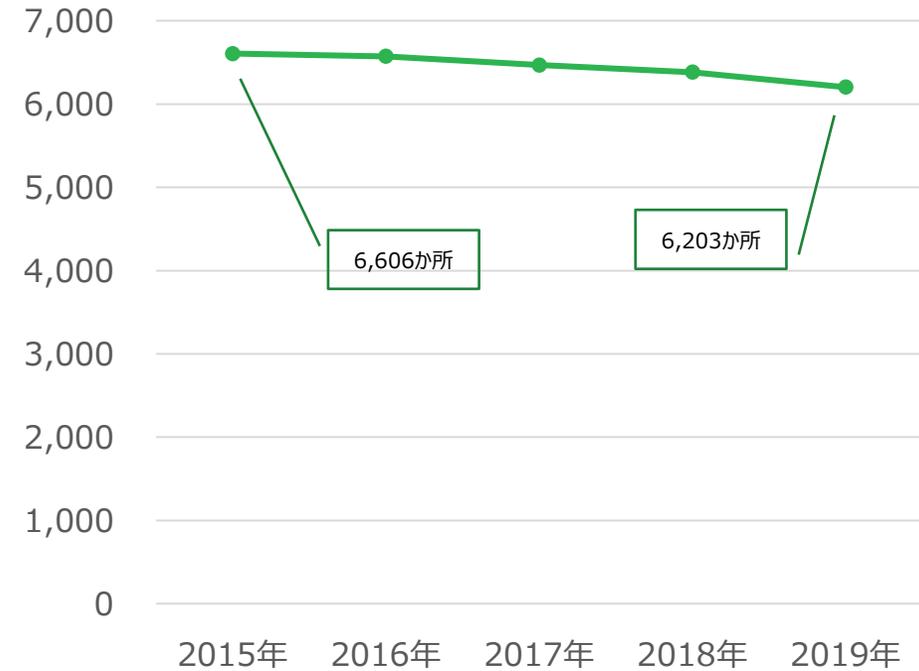
- 小麦の自給率は約7%であり、ほとんどをカナダ、アメリカ、オーストラリアからの輸入に頼っている。
- 直近価格はカナダ産小麦の不作、輸入小麦全体の品質低下、ウクライナ情勢による供給懸念などの影響を受けている。
- 砂糖の自給率は約35%であり、輸入先国はタイ、オーストラリアが大半を占め、輸入単価は年々上昇している。

パン・菓子製造事業者数の推移

パン品目産出事業者数



菓子品目産出事業者数

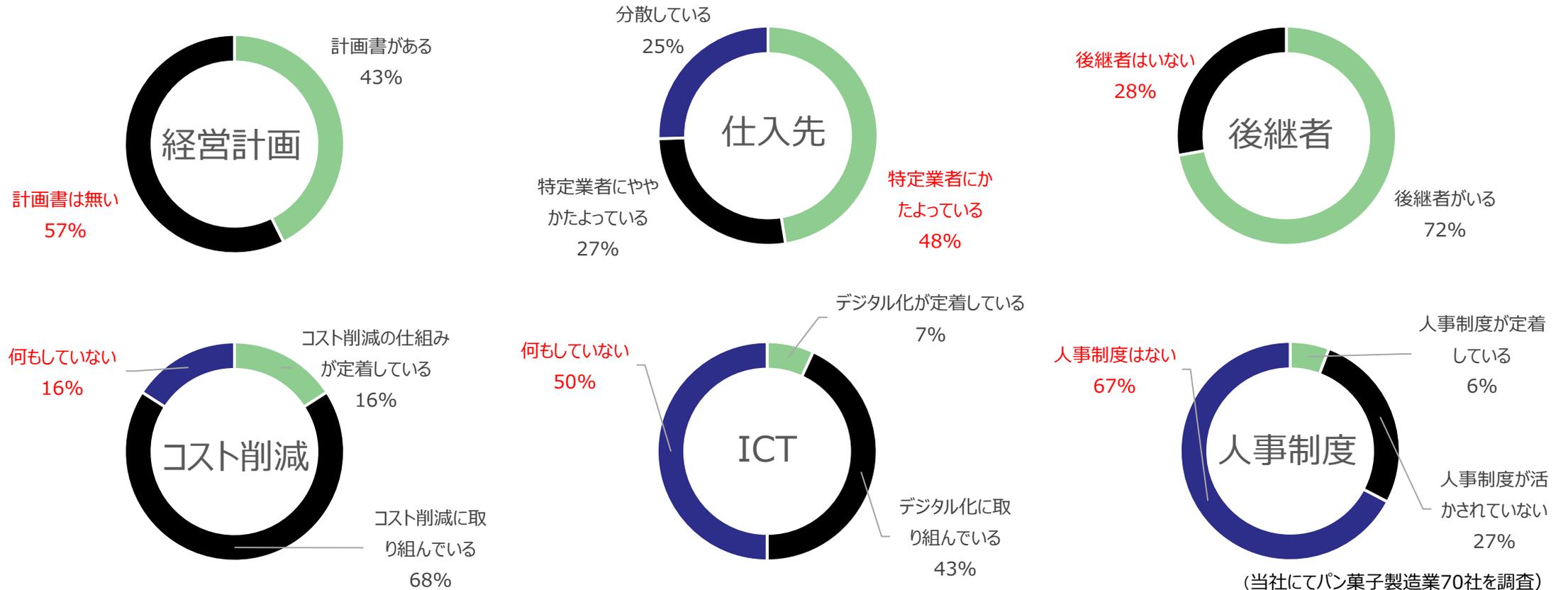


(経済産業省工業統計調査2020年確報より当社作成)

- 参入障壁が低く新規参入事業者が多い業界であるが、事業者数は減少傾向にある。
- 経営者の高齢化や後継者不足による廃業、原材料価格の高騰による収益性の悪化、製品ライフサイクルの早さによる競争激化などが背景にある。

パン菓子製造業の経営課題

CC Innovation / est.2021



- 原料価格高騰、競争激化に加え、グルテンフリー、低糖質志向といった社会的動向もあり、パン・菓子製造業界の経営環境は一層厳しくなることが予想され、生き残りにむけた経営力強化への取り組みが求められる。
- 経営課題は多岐にわたり、俯瞰的に経営改善に取り組むためには、経営力強化の方向性を検討する必要がある。
- 特に、ICT分野、人事分野は未着手の領域であり、高い経営改善効果が期待できる。

コンサルティングメニュー

経営戦略 <ul style="list-style-type: none"> 経営理念・ビジョン策定 経営計画の策定 個別施策の立案 	コストマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 原価管理体制の構築 物件費削減に関する助言 アウトソーシングの受託 	人材紹介 <ul style="list-style-type: none"> 最適な人材マッチング 独自のネットワーク 人材定着サポート
ビジネスマッチング <ul style="list-style-type: none"> 新たな販売・仕入先の紹介 新商品・新技術開発パートナー紹介 グループ会社コレゾの活用 	人事制度・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の策定 賃金制度の設計 階層別・専門別研修の実施 	
ICT <ul style="list-style-type: none"> システム導入・更改のサポート 独自アプリによる生産性向上 社内コミュニケーションの活性化 	業務効率化 <ul style="list-style-type: none"> BPR企画・立案 クラウド会計を活用した事務効率化 各種業務のマニュアル化 	
海外展開 <ul style="list-style-type: none"> 海外販路の開拓 海外拠点の設立に関する支援 貿易手続に関する助言 	M & A・事業承継 <ul style="list-style-type: none"> 企業の売却・買収のコーディネート 企業価値算定に関する助言 経営の承継に向けた社内体制整備 	



- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- 北國フィナンシャルHD各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。